



スペイン、アラブ、コリアの音楽と踊りを満喫!



大森美紗 (フラメンコダンス)

大塚友美 (手拍子) 鈴木尚 (フラメンコギター)

毎年恒例の大型連休のミュージアムサロンコンサート。今年は楽器と音楽に加えて民族舞踊の数々を楽しみました。5月3日はスペインのフラメンコ。フラメンコギターを浜松在住の名手鈴木尚さん、手拍子を大塚友美さん、ダンスを大森美紗さんで披露。フラメンコといえば普通はムードたっぷりの夜の雰囲気ですが、今回はお昼のコンサートでもあるので、衣装も音楽もダンスも、昼間の太陽のような、明るく楽しい、しかし情熱あふれるものでした。4日は聴く機会のないアラブの音楽。楽器の女王といわれる弦楽

器のウードを常味裕司さん、タンバリンのルーツである打楽器レクを和田啓さん、日本でも愛好家急増中のベリーダンスを浜松在住のダンサー miho さんで。西洋音楽とは異なる特有の音階と拍子、ウードの渋い音色に聴衆はうっとり。艶やかなベリーダンスが華を添えました。最終日5日は隣国韓国の古典音楽と宮廷舞踊。男性的な宮廷のお琴コムンゴをパクソニョンさん、韓国を代表する打楽器チャンゴをリチャンソプさん、優雅な宮廷舞踊をキムイルチさんが熱演。韓流ドラマの宮廷模様そのままの踊りに、観客は魅了されました。



miho (ベリーダンス) 常味裕司 (ウード) 和田啓 (レク)



キムイルチ (宮廷舞踊) パクソニョン (コムンゴ) リチャンソプ (チャンゴ)

レクチャーコンサート No. 129 「コリアの歌と音と舞・陰陽の織り成す美の世界」



韓国の伝統音楽を紹介しました。登場した楽器はチャンゴ、カヤグム、コムンゴ。そして宮廷の古典舞踊や世界無形文化遺産に指定されているパンソリが演じられました。

チャンゴは日本の鼓を大きくしたような形をしています。アドリブで軽快なリズムを打ち鳴らしました。日本のお琴に良く似たカヤグムとコムンゴ。カヤグムは指で弦をはじいて音を出し、女性的な音がします。それに対しコムンゴは細くて硬い棒で弦をはじくので、力強い男性的な音がします。

古典舞踊は独特の流れるような腕の動きと美しい衣装から目が離せませんでした。そして、1人の唱者がチャンゴの伴奏に合わせて歌とせりふ、身振りで物語を語っていく伝統芸能「パンソリ」が演じられました。ひとつの物語は数時間かけて語られますが、今回は「水宮歌」の一部分「すっぽんがウサギに会う場面」を約15分で紹介しました。韓国語で語っていましたが、一部日本語に訳して語られ、客席からは笑いがおこりました。韓国の伝統文化に触れる大変貴重な時間となりました。

日時：平成24年5月5日（土） 18:30～20:30

会場：アクトシティ音楽工房ホール

出演：アンソンミン（パンソリ） キムイルチ（古典舞踊）

パクソニョン（コムンゴ） キムオル（カヤグム）

リチャンソプ（チャンゴ） 入場者：167人

レクチャーコンサート No. 130 「酔いしれて、タンゴ」



タンゴは130年ほど前にアルゼンチンで生まれた音楽と踊りです。情熱的で、哀愁をおびたその音楽は日本でも愛されており、演奏会当日もたくさんの方が来場されました。

演奏はチコス・デ・パンパの皆さん。東京を中心に活躍しているグループで、バンドネオン、チェロ、ヴァイオリン、ピアノによるアンサンブルです。タンゴの名曲「ラ・クンパルシータ」や「エル・チョクロ」「ムーチョ・ムーチョ」日本人作曲家である服部良一の「夜のプラットホーム」など全21曲を演奏しました。

タンゴで使用される主なリズムの形には、力強いリズムを打ち込んでいくタンゴ、エレガントなリズムのワルツ、タンゴのリズムの前身ともいわれているミロンガの3つがあります。4人の息の合った情熱的な演奏と、少し悲しげに歌うメロディーは聴衆を惹きつけました。心地よく響くタンゴに酔いしれた2時間でした。

日時：平成24年6月10日（日） 14:00～16:00

会場：アクトシティ音楽工房ホール

出演：チコス・デ・パンパ / 北村聡（バンドネオン）

永野亜希（ヴァイオリン） 宮沢由美（ピアノ）

佐藤洋嗣（コントラバス） 入場者：160人

イヴニングサロンコンサート「最小のアンサンブル～フラウト・トラヴェルソ・デュエット～」



日時：平成 24 年 5 月 30 日（木） 19:00～20:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：有田正広、岩井春菜
入場者：52 人

フラウト・トラヴェルソというのは、約 300 年前のヨーロッパのバロック時代に使われていたタイプのフルートです。今ではフルートといえば金属で作られていますが、昔は木で作られていました。指孔も、直接指で押さえて演奏します。

演奏者は日本フラウト・トラヴェルソの世界的名手である有田正弘さんと、弟子の岩井春菜さんです。演奏曲目は J.M. オトテール "ル・ロマン" (1674-1764)「ある日僕のクロリスは」 M. ブラヴェ (1700-1768) の「フルート二重奏」 F. クープラン (1668-1733)「恋のうぐいす」などでした。木でできたフルートはあたたかな音色がします。フルートソロや息の合ったデュオの演奏は心地よく、静かで落ち着いた雰囲気演奏会となりました。

イヴニングサロンコンサート「弦楽四重奏～ドヴォルザーク “アメリカ” ～」

国内主要オーケストラのコンサートマスターや首席奏者、ソリストとして活躍するトップ奏者 4 名をメンバーとする弦楽アンサンブル「アンサンブル∞-無限-」をお招きして、弦楽四重奏を楽しみました。今回は弦楽四重奏の名曲、ハイドンの「ひばり」とドヴォルザークの「アメリカ」を演奏しました。「アメリカ」は 1893 年、ドヴォルザークが 52 歳の頃の作品で、彼自身がアメリカに滞在している時に作曲したものです。1892 年作曲の交響曲「新世界」と似たメロディーが多いこの曲は、ドヴォルザークがアメリカに対するイメージや風習を思っただけで書かれたものといわれています。アンコールでは、同じくドヴォルザーク作曲の「わが母の教え給いし歌」を演奏しました。弦楽器の素敵な音色が会場に響き、「もっこの音色を聴いていたかった」と多くのお客様が感想を述べられていました。



日時：平成 24 年 6 月 4 日（月） 19:00～20:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：アンサンブル∞-無限- (川田知子 vn. 山本友重 vn. 篠崎友美 vl. 山本裕康 vc.) 入場者：66 人

イヴニングサロンコンサート「魅せられて、バンドネオン」



日時：平成 24 年 6 月 9 日（土） 18:30～19:30
会場：楽器博物館天空ホール
出演：北村聡（バンドネオン）永野亜希（ヴァイオリン）
入場者：132 人

バンドネオンは 1840 年代にドイツのハインリッヒ・バンドによって考案されたといわれる楽器です。バンドネオンには、たくさんのボタンがついていて、蛇腹を押し引きしながらボタンを押すと音のでる仕組みになっています。ドイツでは賛美歌やポルカをバンドネオンで演奏していたそうですが、その後アルゼンチンにもたらされてタンゴ音楽の発展に大きな影響を与えました。バンドネオン奏者の北村聡さんをお招きし、「ロカ・ボヘミア」や「マラ・フンタ」「ピアソラへのオマージュ」ほかの曲を演奏していただきました。また、後半はヴァイオリニストの永野亜希さんが加わり、「ナイトクラブ 1960 (タンゴの歴史より)」「リベルタンゴ」アンコールには、「ラ・クンパルシータ」。バンドネオンの哀愁あるサウンドとヴァイオリンの艶やかな音色のアンサンブルに耳を傾けました。バンドネオンの音をじっくりと楽しめるコンサートでした。



徳持耕一郎さん(中央)と歓談する見学者

企画展「スウィングする鉄筋彫刻」終了

5月2日(水)から始まった企画展「スウィングする鉄筋彫刻」が5月20日(日)に終了しました。会期中は楽器博物館が美術館に変身。遠方からこの展示をを観るために来館された方もたくさんいらっしゃいました。会場にはジャズが流れ、彫刻に囲まれて、さながらジャズライブのよう。大人は等身大のサクソプレーヤーやヴォーカリストと、子どもたちはミッキー&ミニーがピアノを楽しむ彫刻と並んで盛んに記念写真を撮る光景が見られました。2~5日と20日は作者の徳持耕一郎さんが来館され、見学者は終日徳持さんと楽しくお話をされていました。

楽器博物館コレクションCD 新発売

イギリスの産業革命只中に生きた作曲家たちは、当時最先端の技術や科学的意見が取り入れられたブロードウッド・ピアノから多くのインスピレーションを得ました。No.38「イギリス・ソナタ」では、小倉貴久子さんの演奏がブロードウッドの力を存分に引き出します。No.39「地無し尺八の可能性」は、地無し尺八シリーズの完結編。志村哲さんの論考と演奏で、現代曲も含めて、皆さんを地無し尺八の精神世界に誘います。



レコード芸術特選
CD ジャーナル推薦



世界が注目する
地無し尺八のCT画像も掲載

これからの催し物

ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 企画展 **写真で見る・世界遺産ガリファナの歌と踊り** 4/1(日)~6/30(土)
- 特別展 **埋もれた楽器たち~古代への音浪漫~** 8/1(水)~9/2(日)
- 特別展フォーラム
古代への音浪漫・人は何を奏で、聴き、祈っていたのだろう~
音楽考古学から考える~ 8/19(日) 13:00~16:00 (音楽工房ホール)パネラー:山田光洋、中川律子、竹内直文、遼安、嶋和彦
- レクチャーコンサート
・フンフルトゥ~南シベリア、トゥバ共和国の驚異の喉歌と楽器たち~ 6/27(水) 19:00 (天空ホール) 出演:フンフルトゥ(トゥバ共和国4人編成)、等々力政彦 ・ロマンズ~ブラームスとシューマンに聴く~ 7/7(土) 14:00 (音楽工房ホール) 出演:七條恵子、山口幸恵 ・ベートーヴェン・チェロソナタ(全曲)パートI 7/16(月) 19:00 (天空ホール) 出演:花崎薫、小倉貴久子 ・伝統のアフリカ~吟遊詩人グリオと弦楽器コラ~ 8/7(火) 19:00 (天空ホール) 出演:エビゾ・バンゲラほか
・古代への道~琴と箏の時空トラベル~ 8/18(土) 14:00 (音楽工房ホール) 出演:遼安ほか ・北インド夢幻・サロドの音宇宙 8/24(金) 19:00 (天空ホール) 出演:アビセック・ラヒリ、パルタ・サラティ・マルケジー ・ベートーヴェン・チェロソナタ(全曲)パートII 8/30(木) 19:00 (天空ホール) 出演:花崎薫、小倉貴久子
- イヴニングサロン (天空ホール)
・東北のころ~津軽の三味線と唄~ 6/30(土) 18:30 出演:嶋田あやか&タオ ・夏の夜の幻影~ジャワ王宮舞踊と古典詩への招待~ 8/17(金) 19:00 出演:西岡美緒、佐々木宏実、ローフィット・イブラヒム ・弦楽八重奏 8/27(月) 19:00 出演:アンサンブルムジーク弦楽合唱団
- サロンコンサート
電子チェンバロとクラシックオルガンの集い 8/25(土) 13:00~18:00 ゲスト:中野振一郎(チェンバロ)、公月愛子(電子チェンバロ)、鈴木泉(オルガン)

- ミュージアムサロン 14:00 & 15:30 (天空ホール)
7/15(土)バンドネオン&ギター 7/16(日)チェロ&ピアノ 8/1(水)ヴァイオリン&ピアノ 8/2(木)デュオピアノ 8/5(日)サクソアンサンブル 8/8(水)デュオピアノ 8/10(金)チター 8/11(土)バンジョー 8/12(日)アルパ&ギター 8/13(月)セルパン 8/14(火)アイリッシュハーブ 8/16(木)ブルーグラスバンド 8/20(月)アンクルン 8/28(火)グラスハーブ 8/29(水)フルートアンサンブル

博物館日誌

- 4/8(日)ミュージアムサロン デュオピアノ 14:00、15:30 (第2展示室) 出演:長谷川由輝子、トビアス・ボルシュボーム 入場者:91人 5/2(水)~5/20(日) 企画展 **スウィングする鉄筋彫刻~徳持耕一郎作品による~** 入場者:6,303人 5/3(木)ミュージアムサロン **フラメンコギター&踊り** 14:00、15:30 (天空ホール) 出演:鈴木尚、大森美紗 入場者:280人 5/4(金)ミュージアムサロン **ウッド&ベリーダンス** 14:00、15:30 (天空ホール) 出演:常味裕司、和田啓、miho 入場者:330人 5/5(土)ミュージアムサロン **韓国のチャンゴ・コムンゴ・古典舞踊** 14:00、15:30 (天空ホール) 出演:リチャンソプ、パクソニョン、キムイルチ 入場者:248人 5/5(土)レクチャーコンサート **コリアの歌と音と舞・陰陽の織り成す美の世界** 18:30 (音楽工房ホール) 出演:アンソンミン、キムイルチ、パクソニョン、キムオル、リチャンソプ 入場者:167人 5/30(水)イヴニングサロン **最小のアンサンブル~フラウト・トラヴェルソ・デュエット~** 19:00 (天空ホール) 出演:有田正広、岩井春菜 入場者:52人 6/4(月)イヴニングサロン **弦楽四重奏~ドヴォルザーク「アメリカ」~** 19:00 (天空ホール) 出演:アンサンブル∞-無限-(川田知子、山本友重、篠崎友美、山本裕康) 入場者:66人 6/9(土)イヴニングサロン **魅せられて、バンドネオン** 18:30 (天空ホール) 出演:北村聡、永野亜希 入場者:132人 6/10(日)レクチャーコンサート **酔いしれて、タンゴ** 14:00 (音楽工房ホール) 出演:チコス・デ・パンパ 入場者:160人

浜松市楽器博物館だより
平成24年6月20日発行 No.70
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL http://www.gakkihaku.jp/